

## 苫小牧市民の運動・スポーツ活動実態調査 自由記入欄回答集

### ■ 1. 運動スポーツの実施状況について

問4. あなたが過去1年以内に行った運動やスポーツ（学校、職業除く）

A. ダーツ、スケートボード、自宅トレーニング、乗馬、インラインホッケー、アームレスリング、綱引き、合気道、太極拳、レンタルスケート、ヨガ、柔軟体操、フロアカーリング、ブルームボール、TVゲームによるダンス

問6. スポーツをしたのはどのような理由ですか。

A. (多数意見)：犬の散歩、ダイエット、仕事

技術の向上、目的達成のため、通勤手段として（自転車）、職場での準備体操、ボランティア、犬と遊ぶ、優勝するため、子どもの付き添い、仕事に表現力が必要、リハビリ、町内会の会合

問7. スポーツをよく行う場所はどこですか。

A. (多数意見)：ゴルフ場・練習場、自宅周辺の道路、町内会館、散策路

福祉施設、ゲレンデ、キャンプ場、ショッピング、スーパー、道路、野球場、錦大沼周辺、会社の施設、ふるさと海岸、ノーザンホースパーク、町内会館、樽前山神社、金太郎池

問8. 一緒に運動・スポーツを行う人は誰ですか。

A. スポーツ教室の受講者、個人チーム、犬、施設職員、デイサービスの仲間、高校生

問9. 運動、スポーツを行う際の参加形態について

A. 年金受給者協会、連盟・協会、同好会、友人、障がい者スポーツ団体、デイサービス、自宅を道場として利用、ボーイスカウト、社会人サッカークラブ、JRヘルシーウォーキング、マラソンサークル・苫小牧気分は走会、会社の社員全員、NBF、家族、ゴルフコンペ、老人クラブ、山岳会

問10. スポーツを行うにあたって、指導者から指導を受けているか。または、指導を受けたいと思うか。

A. テレビ放送、医者、指導は受けたいがスポーツにお金はかけたくない

問11. どのようなスポーツ指導者が必要か。

A. ・指導する事に自覚を持てる人。指導相手にどんな相手でも執念を持ち愛情を持って指導できる人  
・個人競技の指導者がいない（高校生以上）

- ・挨拶や危険等、基本をまず教えられる人。ケガ等の対処など知識の多い人
- ・病気にあった運動を指導できる人
- ・指導者を必要とする運動も必要
- ・大会とか優勝の為だけ力を入れたトレーニングではついていけない
- ・言葉使いの良い指導者
- ・一方的な指導ではなく一人一人の個人に合った指導が必要

問 12. 問 4 で運動やスポーツをしなかったと答えた方に対する理由

A. (多数意見)：病気・ケガ・障がいのため

太っている、腰痛持ち、身内が入院、町内会で取り組まないから

問 13. 今後行ってみたいスポーツ

A. ストレッチ、ホットヨガ、クレール射撃、地域でのスケート遊び、費用がかからないスポーツ、腰痛を治す体操、ブルームボール

問 14. スポーツを行う、始めるためにどのようなことが重要か。

A. 費用負担が出来るだけ少ないこと、障がい者が使いやすいスポーツ環境、町内会でもっと高齢者にスポーツを進め指導すること、多岐に渡り市の参与・主催に係る、自分の意志、学校の夏休みの町内会ラジオ体操

## ■ 2. 氷上スポーツについて

問 15. 氷上スポーツをしない理由

A. (多数意見)：ケガが不安、興味がない、高齢

大変だから、昔ケガしたから、子どもが小さい、わくわくしない、楽しくない、今更やろうとは思わない、嫌い、時間がない、見ている方が楽しそうだから、自分のシューズがないから、道具が高い、下肢に障害がある、足が痛くなる、腰痛、大人にスケートを教えてくれる場がない、太っているから、体調悪い

問 16. スケートのまちと呼ばれることについてどう思うか。

A. (多数意見)：昔 (20～30 年前) はそうだと思うが、競技人口、指導者含め減少しており残念である。

- ・スケートは道東のイメージが強い
- ・苫小牧に住んで子どもがスケートをするようになってから「スケートのまち」と知った
- ・出身が苫小牧でないので特別な気持ちがない
- ・昔と比べるとあまり盛んでは無い
- ・確かに有名だがPR能力がたりない。海外の友人に話すと素晴らしいと言われるから日本に向けてよりも海外に発信すべきだと思う
- ・もっとマイナーな競技にも支援や目を向けてほしい

- ・過去はスケートの街であったが競技人口の減少で今は釧路に負けている気がする
- ・冬季限定のスポーツ都市と感じる
- ・王子イーグルスがあるから言っていると思う
- ・気軽に楽しめる場所（施設）が少ないと思う
- ・子供達の中からアスリートを育てたい、大人が出来なかった夢を叶えてほしい
- ・アイスホッケー中心でほかの氷上スポーツ導入に色々な障害を感じた
- ・競技をしている団体にもう少し金銭的援助をしてはどうですか（競技者の負担が大きいと思う）
- ・屋外スケート場がなくなりイメージがなくなった
- ・他市町より弱くなっている
- ・フィギュアにも力を入れてほしい
- ・アイスホッケー連盟に、競技人口が増えるよう努力をしてほしい

問 17. スケートのまちとしてどのようにしていくべきか。

A. (多数意見)・競技選手の強化、子どもたちへの普及・指導の強化

- ・新しいスケート競技（アイスクロス等）の大会開催
- ・王子イーグルスなどチームをもっと宣伝するべき。トロントにいった際はメープルリーフスが地元で愛されているのを感じた。女子代表も頑張っていると思うが、もっと努力をしないといけないと思う。
- ・一般滑走の時間をもう少し確保してほしい
- ・アイスホッケーをしているからスケートのまちと言われても困る。そう言われることで、勘違いした競技者が増えて廃れたんだと思う。他競技が頑張っているのにそこにも力を入れていくべき。
- ・海外に向けてPRをしていくべき、国際大会の誘致をする
- ・これ以上余計な負荷を増やすべきではない。屋外リンクは維持費がかかりすぎる
- ・アイスホッケーはルールすらわからない。TV中継などもっと増やすべき。
- ・小、中、高、大学の全国大会を積極的に誘致した方が良い
- ・アイスショーの開催
- ・有名な指導者を誘致する
- ・競技場をもっと増やすべき、屋内 400Mリンクが必要
- ・無料観戦を増やすべき
- ・氷上スポーツも理解するがまずはスポーツの街として大きく考えるべき
- ・学校のリンクが無いなど、競技人口、指導者の減少など時代の流れが大きい
- ・学校の運動時間を増やすべき、外遊びの子どもも少なくなっている
- ・子どもの氷上競技人口が減少しているので、活動する補助金等考えてほしい
- ・市民がもっと参加できるスポーツも考えるべき
- ・小中学校でのスケートの時間を増やす
- ・観光客も巻き込んだ特色のあるイベントを考案し、全国へPRしていく

- ・「帯広の森」の様にリンクを終結し、国際大会開催を可能にする。夏は別競技ができる環境を備え、帯広、釧路には負けないようにしてほしい
- ・苫小牧は何もとりえが無い街なのでせめて、氷上スポーツは守ってほしい
- ・高校、大学の進学に利用するのが嫌悪感を感じ、特権意識も感じる
- ・カーリングに力を入れる

### ■ 3. 氷上スポーツについて

問 18. 地域住民が参加するスポーツ活動の具体例

A. (多数意見)：市民マラソン、ウォーキング、パークゴルフ

自転車競技大会、野球、剣道、スキー、水泳、市民マラソン、フットサル、町内会運動会、町内会行事、ウォーキングラリー、歩こう会、ミニバレー大会、サッカー、市民マラソン、ソフトボール大会、道を研究する会、サッカー少年団、柔道、親子スポーツ教室、アイスホッケー、体操競技選手権大会、運動会、パークゴルフ、腰板教室、パークゴルフ教室、八地区スポーツフェスティバル、水泳教室、カーリング、スポーツ少年団の役員・審判員、アーチェリー、吹き矢、ソフトテニス、ラジオ体操、老人オリンピック、オリエンテーリング大会、太極拳大会、市民踊り大会、24時間野球大会

問 19. 地域住民が参加するスポーツ活動として重要なこと

A. 分かりやすく簡潔であること、初心者が参加しやすい雰囲気、景品、楽しいことすべて実費で行う事、参加人数が多くなると運営上管理・統制が難しくなる、生活に余裕があること、障がい者への配慮、自分の体力に合っていること、町内会のスポーツの行事の幅を広げる

問 20. 参加したいスポーツ行事

A. 町内大会、かんじきを使用した雪上ウォーキングや森林の散策、健康体操、指導者から指導を受けられるもの、パークゴルフの指導者に教えてもらいたい、農園見学

問 21. 地域におけるスポーツ振興に期待すること

A. 障がい者の参加がしやすくなること、地域経済の発展、子どもの電子ゲーム離れ、施設の無料化

### ■ 4. スポーツボランティアについて

問 23. どのような動機付けがあればスポーツボランティアを行うか

A. 選手の成長を感じた時、それなりの報酬、子ども達の笑顔、好きな選手の支援、家族のかかわり、情報が必要、自分に余裕があること

(多数意見) 時間がない、土日休みがない

■ 5. スポーツに関する情報について

問 24. スポーツのどのような情報に興味があるか

A. 自分に合っているかどうか、トレーニングの仕方、体操

問 25. スポーツに関する情報を何から得ているか。

A. 自分が出ている大会等、同好会メンバー、友人、サークルの広報、町内の回覧、老人クラブ、地域包括支援センター

■ 6. スポーツ観戦について

問 27. 観戦してみたいスポーツ

A. ブルームボール、ソフトテニス、社会人バスケット、スノーボード、ハーフパイプ、ボーリング、スピードスケート、ミニバス、卓球、テニス、バレーボール、ドラゴンゲート(プロレス)、アームレスリング、ラグビー、陸上競技、高校ホッケー、柔道、バドミントン、フィギュアスケート、高校野球、モータースポーツ、カーリング、自動車、ボクシング、スキー、テニス、NHL、アメフト、全日本選手の器械体操、ボールルームダンス競技会、スキージャンプ、ボード、空手、日ハム戦、ビッグエアー、剣道

問 28. スポーツ観戦をするきっかけ

A. (多数意見)：時間的な問題が解決すること  
職場の人の試合、仕事で興味を持った、広報、レベルの高い競技を見た、北海道にプロバスケのチームがあるので、

■ 7. 苫小牧市のスポーツ施設について

問 31. 市営スポーツ施設を利用する理由

A. (多数意見)：所属団体の稽古、練習等が行われているため  
部活動、子供のスケートの親子参加があった、そこしかないから(出来る場所が少ない)、専用使用が可能だから、試合があるため、自分に合う時間帯で行える、健康のため、仕事、老人オリンピック、ボランティア、教師

問 32. 市営スポーツ施設に望むこと

A. (多数意見)・施設の無料化、又は割引化(市営プールの500円高い)  
・障害者、妊婦でも利用しやすいようにしてほしい  
・プロスポーツを呼び込める施設を増やす(プロ野球など)

・大人達が施設を利用している間に子供を見てくれる場所・人が配置され、かつ低料金・利用後に食事や休憩の出来る場所を設置等の配慮が必要だと思う。従来通りのやり方では利用者数も増えると思わないので抜本的な見直し・改善が必要だと思う。

- ・自分の興味のある施設が市内にない（スケートボード）札幌まで通っている。市内に出来れば作ってほしい。
- ・一般開放時間帯であるのにも関わらず少年団等のチームで独占して使用しているので改善・指導してほしい。専用枠であれば問題ないが
- ・バス等の移動手段を増やしてほしい
- ・子供達だけでもスポーツを楽しめるよう指導者の配置とともに施設までの道のりの安全を確保する
- ・トレーニングルームとプールの利用について別料金でなく一緒に出来る料金（割引）があれば良いと思う
- ・予算的に厳しいかもしれませんがアマチュアスポーツ選手を招いて講習会・スポーツ教室の開催などをしてもらおうと沢山の人が興味をわかせると思う
- ・手ぶらでいっても楽しめる設備・用具の貸出しがあればいい
- ・一般滑走が限られていてホッケー優先のイメージがあり、毎回どうにかしてほしいと思う
- ・自分は野球をしているが大人の使える球場が少なすぎる。中学校を借りるのにもお金かかるし借りに行く時間もない
- ・トレーニングルームにあるマシンの数を増やして欲しい。腰に負担の少ない腹筋マシン。施設内が静か過ぎるので明るいBGMを流すなどもスポーツがしやすくなるのではないかと思います
- ・小さな体育館やスケートセンターが多すぎる。市内に1つでよいので立派な施設を作ったほうが良い。全ての施設が中途半端である
- ・武道が専門に行える施設の充実（武道館の設置）
- ・17万4千人+東胆振+日高管内合わせ30万人以上の人口でありながら今の市営緑ヶ丘球場は狭すぎ。最低2万5千人～3万人程度のスタンド及び施設を整備してほしい。プロ野球1軍の試合が出来るレベル
- ・フットサル専用コートの設置
- ・高齢者からも利用料を取っても良いのでは
- ・個人でも楽しめる仕組みがあれば良い（卓球などで）
- ・予約等におけるネット活用の拡大・料金の支払もネットで出来るようにする
- ・中途半端な施設作りは利用者の減少を生むのでやめてもらいたい  
（陸上競技場⇒なぜ1種にしないのか、野球場⇒プロ1軍呼べるものに）
- ・屋内リンクの内側をホッケー競技、外側をスピードスケート競技など、様々な競技に対応できるようにしてほしい
- ・施設の使用時間拡大（早朝使用など）

■ 8. 苫小牧市のスポーツ施策について

問 35. 苫小牧市のスポーツ施策に望むこと

A・若者がコミュニケーション取れる場が必要だと思う。ラウンド1なども苫小牧にあってもよいのではないかと思う。

- ・学校や公園周辺の駐車スペースの確保
- ・アマチュアスポーツ選手を招いて講習会・スポーツ教室の開催
- ・アイスホッケーだけではなく、どの競技人口が多いのかを調査し、それに応じた施策を練るべき
- ・市内にゴルフ場がたくさんある事を利用して、何かできないか
- ・スポーツ施設を循環する無料バスがあると利用しやすい
- ・苫小牧市民（北海道は特に）は肥満がないと思うので肥満又はBMI改善の取組をして健康保険料の低減、市民の健康増が最重要課題だと思う
- ・無料の施設や用具の貸出などの充実
- ・プロスポーツを見る機会を多く作ったほうが良いと思う
- ・特に望むのはハイランドスピードスケート場を屋内リンクにする事です。現在屋内リンクがあるのは長野のエムウェーブと帯広の森の2カ所ですがエムウェーブは夏の間イベントを実施し黒字になっていると伺います。帯広はリンクの内側をテニスやフットサルを利用できるようになっておりここ4年間で利用者が100万人を超えたそうです。「スケートの街」「スポーツ都市宣言」した苫小牧市ならやるべきです
- ＊ここ数年でプリンスホテル・プラザホテルニュー王子、そしてサイクリングターミナルの閉鎖となり安価な料金で2食付となれば「於久仁」「杉田」など宿泊ホテルが限られています。ホテルを誘致、合宿所のような施設を作る、ビジネスホテルと食堂をタイアップさせる等早急に対策をしないとスポーツの大会実施などに支障をきたすと思われる。
- ・スケートリンクの維持・継続（現状を維持してほしい）
- ・アイスホッケーに関してはお金もかかり、始めにくいと思う。初心者が始めやすい補助制度を作ってはどうか。
- ・専門知識をしっかりとった、指導者の育成に力を入れるべき。市独自の指導者の検定を行ってはどうか。
- ・現在民間スポーツ施設が市内に2箇所あるが（ジョイフィット、ホリデイ）、こういった施設をもっと安価で西・中央・東各方面にあるとよいと思う。
- ・町内会でもっとスポーツ情報を交わし、体力増強できるスポーツをする
- ・ひとりでも楽しめるスポーツの機会が欲しい。町内会任せではなく、市側にもっとリードしてほしい。
- ・歩くスキーができる場所がほしい。
- ・スピードスケートの活性化も図る